

色をたのしむ 展覧会

構図とともに絵画の重要な要素の一つである「色」に注目し、近現代の日本画を中心に紹介します。

澄んだ空の色や春の柔らかな光、新緑の山や匂い立つような花々の色など、自然の色を表現するために、画家たちは古くからさまざまな素材を画材としてきました。青や緑を表す絵具には、天然の鉱物を砕いた岩絵具を使い、季節ごとにつりゆく自然の姿を描きました。薄く光を透した花びらの色を表現するには、胡粉と呼ばれる蛤や牡蠣の殻を精製して作られた白い絵具に染料などを混ぜ、透明感や実在感を表現しています。

本展では、淡い薄紅色の桜を描いた作品や、群青や緑青の色が使われている風景画、また古くから日本の美術に使われてきた紅白、金、墨などを用いた作品を色ごとに展示し、画材や使われている技法などを通して、色の魅力に迫ります。



上村松園「つれづれ」



船田奇峯「藤」1982年



那波多目功一「春の宵」1993年

次回展覧会のお知らせ

6/22(水)～8/22(月) 所蔵品展Ⅱ「瀬戸内の作家たち」

文化施設のご案内

- ◆三之瀬御本陣芸術文化館 4/27(水)～6/6(月)
「須田国太郎と独立美術協会の仲間たち」
- ◆蘭島閣美術館別館 4/6(水)～7/4(月)
「所蔵品への視点シリーズ・5『描かれた女性たち』」
- ◆松濤園 4/13(水)～6/20(月)
「朝鮮通信使をめぐる人々」「やきものの方」



G.W(5/3, 5/4, 5/5) 限定



ポストカード プレゼント!

ご来館の皆さまに
当館オリジナルポストカードを差し上げます。

アクセス方法

マイカー

■広島市内から車で60分
呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡った最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場より徒歩260mです。

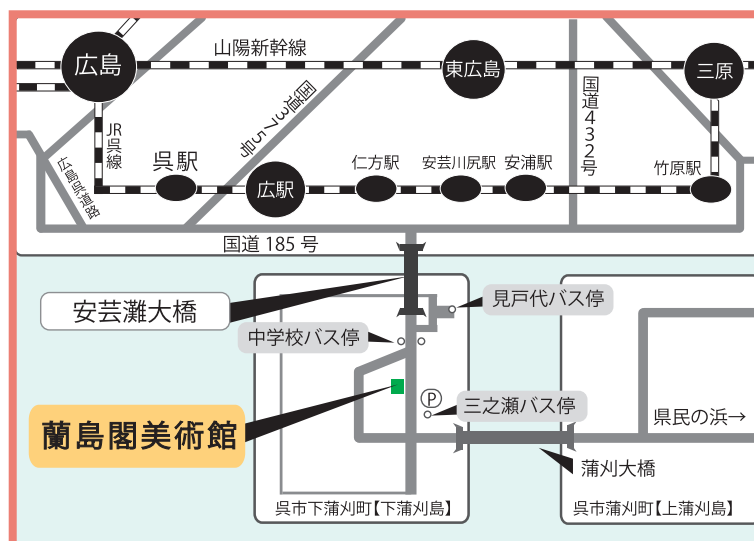
電車とバス

■呉市内から電車・バス利用の場合
JR呉線で広島または仁方駅で下車。駅前最寄りのバス停留所より瀬戸内産交運行のバス乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。美術館まで300m。

バス

■広島市内からバス利用の場合
広島バスセンターからさんようバス運行の「蒲刈・豊浜・豊」行きに乗車。下蒲刈町内の「見戸代棧橋」停留所で接続する後続バスに乗り換え。「三之瀬」停留所下車。美術館まで徒歩300m。

(バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 TEL 0823-70-7051)



※新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止のため、今後開催を予定している展覧会が変更となる場合があります。最新情報は当館のHPでご確認いただくか、当館までお問合せ下さい。